

西川産業からのご提案！

ESCA

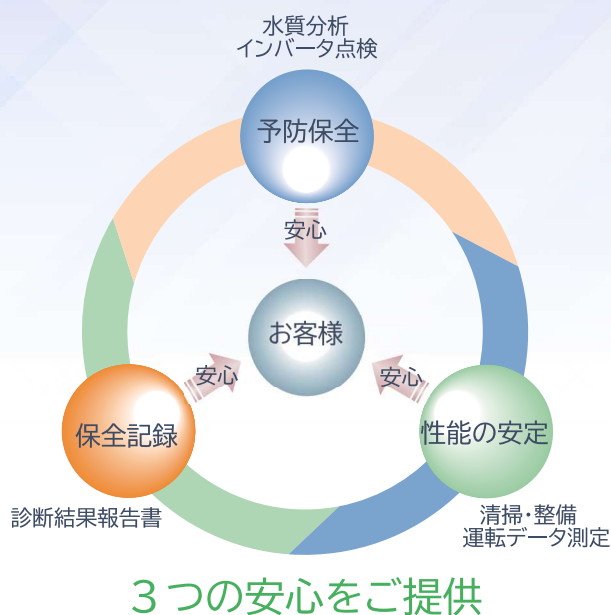
(Energy Saving Clean Air)

オリオンエアドライヤー・エアフィルター 定期メンテナンスのすすめ

安全に良好な状態でお使いいただくために
定期的な点検・お手入れをお勧めします

エアドライヤーの定期点検推奨時間：8000時間または1年
エアフィルターのエレメント交換推奨時期：取付後最長1年

■ 定期点検による安心をお客様へ



圧縮空気を使用する場合に必要な不可欠な設備機器であるエアドライヤー・エアフィルター。

偶発的な故障による生産ライン停止を未然に防ぎ、無駄なランニングコスト削減のためにも定期的なメンテナンスをお勧めします。

定期点検のメリット

- ランニングコスト低減
- 故障・運転停止による圧損の抑制
- 保守記録の保管
- 定期保証

ORION
冷熱と真空でイノベーション

—使う人の希望と創る人の誠意の交叉店—



西川産業株式会社

<https://www.nishikawa-nbc.co.jp/>



日本工作機械販売
協会正会員



ISO14001
岡山営業所を除く
全事業所で取得

- | | | | |
|-----------------------------|--------------------|---------------------------------|---------------------|
| □ 本社 06-6990-5208 | □ 大阪北 072-633-8001 | □ 東大阪 06-6747-7801 | □ 堺 072-341-8001 |
| □ 尼崎 06-6489-2380 | □ 三田 079-553-1778 | □ 明石 078-927-3664 | □ 兵庫小野 0794-64-9156 |
| □ 滋賀 077-552-0721 | □ 彦根 0749-21-0347 | □ 奈良 0743-59-3456 | □ 岐阜 0574-28-1020 |
| □ 三重 059-345-6270 | □ 岡山 086-246-0268 | □ 営業本部エンジニアリンググループ 06-6990-5212 | |
| □ マザックニシカワ株式会社 06-6487-3455 | 担当者 | 携帯 | |

STEP.1 ドライヤー診断



■周囲温度の計測

使用温度範囲外にてご使用されると異常・故障の原因となります。

■設置環境の確認

粉塵・腐食などが発生している場合異常・故障の原因となります。



■空冷コンデンサの汚れ具合確認

コンデンサが汚れていると冷媒を十分に冷却できないため、異常・故障の原因となります。



■異音の確認

ファン部の異音確認
異音発生している場合にはファン・モーターでの異常が考えられます。



■ドレントラップの動作確認

■ドレントラップ入口温度の確認

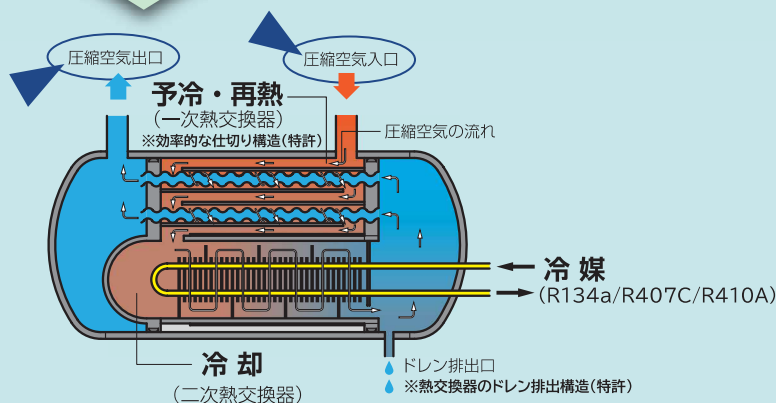
ドレン排出不良やドレンの吹きっばなしが発生していないかを確認します。また、温度を測ることでドライヤーが正常運転を行っているか確認します。

STEP.2 温度測定



■圧縮空気出入口の配管温度を確認

圧縮空気が正常に冷却・除湿できているかどうかを確認致します。温度が正常な値ではない場合には、ドライヤー内部の不具合・環境要因からの不具合など、故障の原因になりうる問題が発生します。



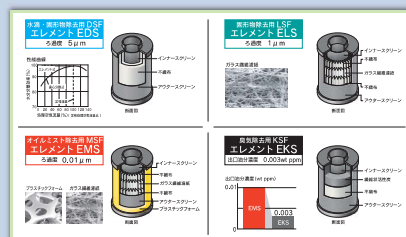
STEP.3 エアフィルターのチェック

■フィルター状態確認

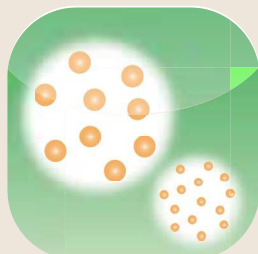
フィルターには交換時期が設定されております。

【一年経過または差圧 0.07MPa 以上到達のどちらかが交換目安となります】

フィルター交換を行わなかった場合には、フィルタ内にて目詰まりが発生し十分な捕集を行えず、末端エアにオイルやゴミが流出してしまい、エアの品質低下を引き起こします。



■ さらにオプション点検項目をご用意しております(有償)



空気油分濃度測定



コンタミ測定
(固体粒子数)



ドレン油分濃度
測定



露点測定器による
測定